

平成 30 年 7 月豪雨・洪水における感染予防

日本環境感染症学会は 7 月 9 日、学会ウェブサイトで「水害被害へのお見舞いと支援について」を公表し、西日本豪雨の被災地で救援活動を展開する専門家に対し、感染制御マネジメントの手引きや水害時の衛生対策と消毒方法のガイダンスの利用を呼び掛けています¹⁾。その要約を記載します。

1) 被災地・避難所で生活する際の感染予防

- ① 食事と衛生食事と下痢、嘔吐：暑いところに放置してある食べ物に注意しましょう。擦り込み式のアルコール手指消毒薬がある場合には、使用しましょう。
- ② トイレと感染症：手洗いを徹底しましょう。タオルの貸し借りは避けましょう。
- ③ 風邪・感冒：避難所で人が沢山いる状態が長く続くと、風邪症候群、手足口病、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナなど夏によく見られる感染症が流行します。咳などがある時には咳エチケットをしましょう。
- ④ その他の感染症：全国的に流行性角結膜炎が流行しています。タオルの貸し借りを避け、こまめに、流水と石鹸で手を洗いましょう。
- ⑤ ワクチンの接種：お子さんは定期予防接種をきちんと受けるようにしましょう。

2) 瓦礫の撤去、復旧復興作業における感染予防

- ① 傷と感染症：作業の際には、丈夫な靴や手袋で予防しましょう。傷があるときは流水できれいに洗いましょう。また傷口が膿んだ時、赤く腫れて熱感や痛みがある時は、医療機関へ相談しましょう。破傷風も、傷の汚染から起きます。ワクチンで予防できますが、約 10 年で効果は切れてしまいます²⁾。けがをする可能性がある作業に従事する場合は、事前のワクチン接種をお勧めします。
- ② 土壌や環境水への接触と感染症：溺れるなどして、土壌や環境水を吸い込むと、環境中のレジオネラ菌に感染し、レジオネラ症になることがあります³⁾。被災時に土壌や環境水を吸い込んでから、10 日以内に症状がでた場合には、速やかに医療機関を受診しましょう。作業の際には、防じんマスクを着用しましょう。露出した皮膚が土壌や環境水に接触すると、レプトスピラ菌に感染し、レプトスピラ症にかかることがあります⁴⁾。屋外での作業の際には、長靴やゴム手袋などを着用しましょう。
- ③ ダニと感染症：日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群（SFTS）は、西日本で発生の多い、マダニに刺されて起こる感染症です。屋外の作業の際には、皮膚の露出面を少なくする、虫よけスプレーを用いるなどし、マダニに刺されないようにしましょう。もし刺されてしまったら、無理に取り除こうとするとマダニの頭部が皮膚に残ることがありますので、できるだけ医療機関で取り除いてもらいましょう⁵⁾。
- ④ 蚊と感染症：日本脳炎は、西日本を中心に毎年 10 人前後が報告されています。症状は、発熱、頭痛、悪心嘔吐、めまい、意識障害、麻痺、痙攣などです。日没

から夜は特に肌の露出を少なくしたり、虫除けスプレーを使って蚊に刺されないようにしましょう。ワクチンで予防できますが、接種から 10 年を経過すると効果は切れてしまいます。

2) 被災地へ支援に行く皆様へ

被災地に向かう際には、感染症を持ち込まない、またご自身が感染しないため、以下の点に注意し感染予防にご留意下さい。

○体調が悪い場合には無理をしない。

特に、発熱、咳、発疹、下痢などの感染症が疑われる症状がある時には、体調を整えてから現地に向かう。

○必要に応じワクチンを接種しておく

・ 麻しん：2 回の麻しん含有ワクチン接種が終了していない場合は、麻しん風しん混合ワクチンを推奨します。

・ 破傷風：45 歳以上の方は、破傷風に対する免疫を持っていないことが多いです。創傷を負う可能性が予想される時には、事前に破傷風トキソイドを推奨します。

一般社団法人日本環境感染症学会

菊池中央病院 中川 義久

平成30年7月17日

参考文献

1) 平成 30 年 7 月豪雨における感染症予防について

http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=237

2) 熊本地震と洪水、懸念される破傷風

<http://www.nobuokakai.ecnet.jp/nakagawa122.pdf>

3) 温泉利用の男性、レジオネラ症で死亡

<http://www.nobuokakai.ecnet.jp/nakagawa142.pdf>

4) 経皮感染するレプトスピラ - 水遊びに注意 -

<http://www.nobuokakai.ecnet.jp/nakagawa125.pdf>

5) 猫咬傷で重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) を発症

<http://www.nobuokakai.ecnet.jp/nakagawa152.pdf>